

政策評価シート(令和4年度実績評価)

◎政策の基本情報

政策No	0401	政策名	地域主体のまちづくり	政策主管課	地域づくり課	課長名	鈴木 淳子
政策の目指す姿		個性あふれる地域づくりが活発に行われています					
政策の方針							
これまで進めてきた住民主体の地域づくりが、より個性にあふれ活発に行われるためには、幅広い世代の市民のさらなる参画と安定した地域づくりの基盤が必要です。 そのために、老若男女多くの住民が地域づくりに参加できるよう意識の醸成を図るとともに、地域づくりの中心となるコミュニティ会議の基盤強化に向けて支援を行います。							

1 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
この1年間に地域の活動に参加した市民の割合	個性あふれる地域づくりを担うのは、そこに住む住民が中心であることから、地域活動への市民の参加状況を指標として設定する。	出典：花巻市（市民アンケート）問：あなたは、この1年間に次のような地域活動に参加しましたか。(1)子ども会やPTA活動(2)資源ごみ回収や市民一斉清掃、花いっぱいなどの環境保護活動(3)地域のお祭りやイベントへの参加(4)交通安全、消防団、防犯活動(5)高齢者団体活動(6)地域内ボランティア活動(7)学習活動(8)伝統文化保存活動(9)コミュニティ会議の活動(10)その他(11)参加していないのうち(1)～(10)のいずれかに参加した人の割合	%	目標値	88.00	88.00	89.00	89.00	90.00	
				実績値	83.70	71.40	69.00	71.50		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

2 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	令和元年度までの実績値は目標値前後の値で推移しており、概ね目標を達成している状況であったが、令和2年度～3年度はコロナ禍の影響により、地域活動の中止や延期、地域活動の拠点である市公共施設の利用制限が行われたため目標を大きく下回った。令和4年度は市公共施設の利用制限も緩和され、地域活動も徐々に増えてきたこともあり、令和3年度より2.5%増加した。 市民が参加している地域の活動で最も多いのは、資源ごみ回収や市民一斉清掃、花いっぱい運動などとなっており、コロナ禍にあっても、地域での環境美化活動等には積極的に参加していると言える。これらの活動や行事は、長年継続されてきたものであり、地域活動として定着していること、幅広い世代が気軽に参加しやすいということが高い割合になっているものと考えられる。

3 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
D③	地域の特性を活かし進めてきた住民主体の地域づくりがさらに活発に行われていくためには、地域活動の拠点である振興センター等について、必要な施設の長寿命化や機能改善を実施し、市民が利用しやすい施設となるよう整備を進めるとともに、地域活動の担い手として、若者や女性など幅広い世代の参画の促進が必要である。 地域の活動に参加している市民の割合は、コロナ禍前は8割以上で推移しており、おおむね目標を達成していたが、令和2年度から令和3年度にかけて低下し、コロナ禍による地域づくり活動の中止、延期、市公共施設の利用制限等の影響が見られた。令和4年度からは、コロナ禍により縮減されていた地域づくり活動が徐々に再開されてきたこともあり、割合が若干上昇している。 また、人口減少が進む中で役員の負担の増加や組織の担い手不足などの課題は、市内全域での共通課題となっていることから、事業の整理と統合による負担軽減、コミュニティ会議と市との協議、地域づくり活動の推進についてノウハウを持つNPO法人等の中間支援組織によるコミュニティ会議へのサポート、次世代育成対策、コミュニティ会議の活動の積極的な情報発信など、持続可能な地域自治活動に向けた継続した取り組みが必要である。また、移住・定住の推進については、移住者が増加している傾向であり、引き続き支援を継続していく必要がある。

4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
1	地域づくりへの参加促進	振興センター利用人数	千人	目標値		300.00	300.00	300.00	300.00	
				実績値		84.00	95.00	148.00		
		市民一人あたり振興センター利用回数	回	目標値		3.10	3.10	3.10	3.10	
				実績値		0.90	1.02	1.61		
		国・県・市の制度を活用した移住者数	人	目標値		48.00	48.00	48.00	48.00	
				実績値		61.00	52.00	102.00		
2	コミュニティ会議の基盤強化	地域の総課題件数のうち、地域で問題解決した件数の割合	%	目標値	75.00	85.00	85.00	85.00	85.00	
				実績値	82.00	81.00	80.00	83.00		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

5 政策を構成する施策一覧

1	施策名	地域づくりへの参加促進			
	施策の成果指標の達成状況	H31 C	R02 D	R03 D	R04 D
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振興センター等の老朽化が進んでいることから、利便性及び安全性の確保と長寿命化を図るため、老朽度に応じた適切かつ計画的な改修を行っていく必要がある。 ・ 移住相談件数は増加しているが、移住関連サイトの閲覧者数が減少しているため、閲覧者数の増加を目指す必要がある。 ・ 若者の婚姻に伴う新生活の開始にかかる経済的支援を引き続き行う必要がある。 ・ まちづくり活動の基本的理念である市民憲章をより浸透させる必要があることから、市民憲章推進協議会の活動支援を継続するとともに、活動の内容について市民に周知し、普及啓発を図る必要がある。 ・ コミュニティ助成事業の内容や申請方法について、広く自治会等に周知する必要がある。 ・ 移住定住者向けに空き家バンクの登録数を増やす必要がある。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振興センター等の老朽度を調査し、中規模改修の実施時期についての計画を策定する。利便性及び安全性の確保、長寿命化を図り、地域活動の拠点として、多くの市民に利用される施設となるよう機能の充実と改修を進めていく。 ・ 移住支援サイトの見直しを行い、移住希望者はもとより、移住に興味・関心を持つ潜在層へ向けた、花巻の魅力を積極的に発信していく。 ・ 結婚新生活支援事業補助金の見直しを行い、交付対象者の増加を図る。 ・ 市民憲章推進協議会への活動支援を行い、広報はなまきへの啓発記事の掲載などで広く市民に周知する。 ・ コミュニティ助成事業への申請を促すため、補助制度について、広報はなまき等で広く市民に周知し、申請の推奨、申請支援を行っていく。 ・ 空き家バンクの登録数を増やすため、相談会の開催や、専用ポータルサイトで制度についてわかりやすい情報発信を行う。 			

2	施策名	コミュニティ会議の基盤強化			
	施策の成果指標の達成状況	H31 A	R02 B	R03 B	R04 B
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な地域自治を実現するために地域住民が関心を持つことや、若い世代や女性による地域づくり活動への参画と協働を促進することが必要である。 ・ コミュニティ会議を中心とした地域づくり活動がより効果的に行われるために、コミュニティ会議の地域課題の把握と解決する能力の向上が必要である。 ・ 地域づくりの担い手の不足や、地域づくり活動への負担感が増えているため、コミュニティ会議の組織や役、運営の合理化による効果的な地域運営の実現が必要である。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民がコミュニティ会議の活動に関心を持つことができるよう地域住民への情報発信に努めるとともに、若い世代や女性が地域づくり活動へ参画できる環境を整えるため、中間支援組織等によるサポート事業を引き続き実施する。 ・ 地域づくり活動の効果的な実施のため、その手法の習得等のコミュニティ会議への支援や情報交流を行うとともに、講演会やワークショップを開催し、地域課題を解決する能力の向上を図る。 ・ 地域づくりの担い手の確保や地域づくり活動への負担感の軽減のため、コミュニティ会議との協議の場において対策を協議するとともに、中間支援組織等によるサポート事業を利用いただきながら運営の合理化を促し、効果的な地域運営を支援する。 			